

「防災・減災講座運営」 & 「やさしく伝える日本語」

対象 生涯学習・社会教育関係職員、NPOやボランティア団体関係者、青年会議所・地域福祉関係者、学生等で地域づくりに関わっている方等

テーマ:防災・減災

定員
各会場30名

～地域での講座運営にも役立つ、そして、いざという時に役立つ！ 体験型セミナーです！～

【村山会場】

令和5年 9月 1日(金)11:00～15:00 東根市西部防災センター(東根市蟹沢1156-4)
※会場が変更になりました

【庄内会場】

令和5年 9月 8日(金)11:00～15:00 余目第4まちづくりセンター (東田川郡庄内町南野十八軒21-1)

◆ワークショップ①「災害時に役立つ炊き出しにチャレンジ!」

協力:我妻 由美子氏(高畠町赤十字奉仕団 委員長) ほか赤十字奉仕団の皆様

*災害時に地域住民の心の支えとなる食事。現場で役立つ食事の準備や提供、または作り方など、実践的な内容を学びます。また、実際に炊き出しにトライ! 試食も行います(スイーツも作ります)。

◆講義&ワークショップ②

「防災・減災講座・イベントの企画と運営のポイント

～避難所運営ゲーム(HUG)体験とゲーム実施の可能性を考える」

講師:千川原 公彦氏(ウェザーハート災害福祉事務所 代表)

*防災・減災講座企画運営についてのポイントを学び、その後グループに分かれて避難所受付運営ゲーム(「HUG」を参考にした演習メソッド)を実践。

テーマ:やさしく伝える日本語

【最上会場】

令和5年 9月 19日(火)13:00～16:00 わくわく新庄 (新庄市下金沢町15-11)

【置賜会場】

令和5年 9月 20日(水)13:00～16:00 シェルターなんようホール (南陽市三間通430-2)

詳しく書いたのに問合せが多く対応が大変なのはなぜ? 工夫して書いたつもりだけど想定していた反応が返ってこない…そのようなお悩みはありませんか?

高齢者、子ども、外国人…我々が思っている以上に多様な読み手が山形県にもたくさん存在します。伝わりやすい書き方のスキルを学んで、伝えるほうも読むほうも、脱ストレスを目指します。

◆講義&演習「伝えたいことを簡潔に伝えるには～やさしく伝える日本語を考える」

講師:岩田 一成氏(聖心女子大学 現代教養学部 日本語日本文学科 教授)

*『新しい公用文作成ガイドブック』『読み手に伝わる公用文:<やさしい日本語>の視点から』著者

★演習で使う素材を募集します!

詳しく書いたはずなのに問い合わせが多かった、または反応が悪かった…そのようなお知らせ文やチラシなどありましたら申込時にお知らせください。講座内で岩田先生からご指導いただけます。

地域づくり人材育成セミナー申込について(先着順)

QRコードのお申し込みフォームからお申込みいただくか、FAXにてお申込みください。
複数のテーマでのお申込みも可能です。日本語セミナーの素材をご提供いただける方はその旨お書き添えください。

FAX:023-625-6415

https://www.gakushubunka.jp/yugakukan/lcseminar_r5/

締切
8/21(月)



ふりがな ご氏名	ご所属組織・団体	参加希望日			
	メールアドレス(必須)	電話番号			
	選択ください: 生涯学習関連施設 自治体 NPO法人/ボランティア団体 学生 その他				
		9/1 村山	9/8 庄内	9/19 最上	9/20 置賜
	@				
	生涯学習関連施設 自治体 NPO法人/ボランティア団体 学生 その他				
		9/1 村山	9/8 庄内	9/19 最上	9/20 置賜
	@				
	生涯学習関連施設 自治体 NPO法人/ボランティア団体 学生 その他				
		9/1 村山	9/8 庄内	9/19 最上	9/20 置賜
	@				
	生涯学習関連施設 自治体 NPO法人/ボランティア団体 学生 その他				

申込
責任者

ご氏名	
ご所属・団体/役職	
お電話番号	
メールアドレス(必須)	

その他

*名札・ネームカード等(普段職場で使用しているもの)がある方はご持参ください。
*新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、研修内容等を変更する場合や、セミナーを中止とする場合の申込者への連絡は、財団担当者から直接連絡をいたします。なお、本セミナーの延期はいたしません。

■本セミナーに関するお問い合わせ

(公財)山形県生涯学習文化財団(山形県生涯学習センター)

学習振興部 担当:吉田・岡崎

TEL:023-625-6411 FAX:023-625-6415 MAIL:yama@gakushubunka.jp